

## 2022年りんご黒星病の予想感染危険日情報（りんご果樹課5月27日現在）

### 1. 感染危険日の予想について（弘前、三戸の気象予測データによる）

予想感染危険日	5月28日	5月29日	5月30日
弘前	—	—	—
三戸	—	—	—

※りんご黒星病発生予察システムにより、感染危険日と予想された日は「○」、それ以外の日は「—」と表記します。

本システムは、主に6時間ごとの「降水」の予想から、葉の濡れが継続し、黒星病に感染しやすいと見込まれる日を「感染危険日」として、予想しているものです。

気象予測は、直前に大きく変更になるおそれがあるため、必ず、最新の天気予報を確認し、降雨前に散布しましょう。

### 2. 青森県の週間天気予報（5月27日11時現在）

青森県の天気予報（7日先まで）									
2022年05月27日11時 青森地方気象台 発表									
日付	今日 27日(金)	明日 28日(土)	明後日 29日(日)	30日(月)	31日(火)	01日(水)	02日(木)	03日(金)	
津軽	雨 	曇一時雨 	曇時々晴 	晴時々曇 	曇一時雨 	曇一時雨 	曇 	曇一時雨 	
降水確率(%)	-/80/50	50/40/40/20	20	10	50	50	30	50	
信頼度	-	-	-	A	C	C	C	C	
青森 気温 (℃)	最高	19	20	22 (20~25)	20 (18~22)	17 (16~21)	21 (17~25)	21 (17~25)	18 (15~22)
	最低	-	13	14 (12~15)	13 (11~15)	12 (11~15)	14 (12~16)	14 (12~16)	13 (10~16)
日付	今日 27日(金)	明日 28日(土)	明後日 29日(日)	30日(月)	31日(火)	01日(水)	02日(木)	03日(金)	
下北・三八上北	雨後曇 	曇時々晴 	晴時々曇 	曇時々晴 	曇一時雨 	曇一時雨 	曇 	曇一時雨 	
降水確率(%)	-/80/10	10/10/30/20	10	20	50	50	30	50	
信頼度	-	-	-	A	C	C	C	C	
八戸 気温 (℃)	最高	21	23	24 (21~26)	17 (15~19)	22 (15~21)	21 (20~26)	21 (16~24)	17 (14~22)
	最低	-	13	14 (13~15)	11 (10~13)	12 (10~13)	13 (12~15)	13 (10~15)	12 (9~14)
向こう一週間（明日から7日先まで）の平年値									
降水量の7日間合計				最低気温			最高気温		
青森 平年並 4 - 19mm				11.7℃			20.8℃		
八戸 平年並 5 - 20mm				11.3℃			20.3℃		

※ 気象庁HP（[https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/#area\\_type=offices&area\\_code=020000](https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/#area_type=offices&area_code=020000)）に掲載されている青森県の週間天気予報の図を、県りんご果樹課で画像に加工。

- ・津軽地域では、5月28日、31日、6月1日、3日に降雨が予想されています。
- ・県南地域では、5月31日、6月1日、3日に降雨が予想されています。

### 3. 防除のポイント

- ・「ふじの落花20日後頃」の散布時期は、黒石、弘前、三戸で5月30日～31日頃です。
- ・子のう胞子が多く飛散する「ふじの展葉1週間後頃」から「ふじの落花20日後頃」までは、黒星病の最も重要な防除時期です。薬剤散布間隔を遵守し、散布むらがないように基準量を丁寧に散布してください。
- ・散布予定日に降雨が予想される場合は、降雨前に散布しましょう。

#### 《 農薬使用基準の遵守 》

農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認する。

また、短期暴露評価の導入により使用方法が変更される農薬は、登録内容の変更前であっても、変更後の使用方法で使用する必要があるため、変更の有無を次のWebサイトで確認してから使用する。

○農林水産省「農薬登録情報提供システム」

<https://pesticide.maff.go.jp/>

○（独）農林水産消費安全技術センター「農薬登録情報・速報」

<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/index/index.html>

○青森県農業情報サービスネットワーク「アップルネット」農薬情報

<https://www.applenet.jp/nouyaku/>

農薬の使用にあたっては、事前に周辺住民に対し、農薬の散布日時や使用者の連絡先等を十分な時間的余裕を持って知らせる。また、農薬の飛散により、周辺作物や近隣の住宅等に被害を及ぼすことのないように農薬飛散低減対策に留意して散布する。